

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホーム和1	評価実施年月日	平成21年7月23日～平成21年8月24日
評価実施構成員氏名	平野久枝・黒崎美香・池田公子・田中博之・古田美紀子・阿部美和子・金野元威・廣瀬香織		
記録者氏名	平野久枝	記録年月日	平成21年8月24日

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	「和む場所で、その人の力を大切に、あたりまえの生活を、共に生きる」の理念を掲げ日々努力している。		
2 ○理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念に基づき、一人ひとりが実践するよう日々入居者の支援に努力している。		
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	家族や地域の方たちには、家族代表が出席の推進委員会等で日々の暮らしの説明をする事に寄り理解を得られていると思われる。		
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	隣近所の人や愛犬を見に立ち寄って下さる人とは、気軽に挨拶を交し、除々に関係作りに努めている。		
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	ホームでの行事、お花見会には自治会の方が大勢参加して下さり、ゲーム・カラオケ・食事等をし、又自治会開催の行事にも参加させて頂き、定着した交流が出来ていると思う。		
6 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	家族的な雰囲気の中で、健全で安らかな生活を支援していけるような対応に努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	自己評価・外部評価の理解の下、評価を活かし改善に努めサービス向上に努力している。		
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	自己評価・外部評価の評価の説明をし、質問や意見を受け今後のサービス向上に活かしている。		
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	2ヶ月に1度の地域包括支援センター主催である地域ケア会議に参加し、各事業所の情報交換や実態を把握する機会としている。		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	研修にて学ぶ機会はあるが、積極的に理解を深めるまでには至っていない。現在利用が必要な入居者は居ないが、今後職員全員で理解出来る様努めていきたい。		
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	市の虐待対応マニュアルの扱い、事業所内での伝達をし、共に対応を振り返りながら防止を努めている。		
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時点で十分な説明をし、納得いただいて契約を結んでいる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	職員と入居者との関係を密にし、気軽に意見や要望を聞き入れる体制を築き上げていると思われる。入居者同士の話にも耳を傾け、思いを把握するよう努力している。又ホーム内に意見箱を設置している。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	毎月1回、家族へ入居者の生活ぶりや健康状態について、お手紙で報告している。又お小遣い出納帳も領収書を添え送付し、安心していただいている。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族の方が来設された際、気軽に話しやすい様な雰囲気作りをし、声かけを行っている。又介護計画説明時など機会を設けている。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	2・3か月に1回全体会議を設けていて、その場にて意見や提案を聞く機会を持ち反映させている。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	早出・遅出の勤務体制を試みたが、遅出についてはまだ必要と思われず、早出のみで調整している。	○	今後必要に応じ柔軟な対応が充分可能である。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	職員の異動はほぼ定着しており、入居者には安心して生活をして頂いていると思われる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	新職員に対しては、グループホーム協議会の基礎研修を設けている。又資格取得に 対してや講習会・研修等の参加にも勤務調整をしている。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	同業者との交流や連携が重要と認識し、グループホーム協議会に加入していて研修 を通し情報交換や交流の場となり、サービスの質を向上させる努力をしている。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	ホーム内での喫煙を許可し、ストレスの軽減に取り組んでいる。又職員間でお互い話 し合える環境づくりをしている。		
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	資格を持っていない職員の勤務体制を優遇して受講させ、各自の向上心を持って働 けるようにしている。又資格取得後は賃金に反映している。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居前に御自宅に訪問し、本人自身が話しやすい状況にして、出来るだけ詳細なア セスメントを取る努力をしている。		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	家族の思いや困っている事、本人と家族の歴史や関係性等個人性があるので初期 の段階では、あるがままを受け止める努力をしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	殆どどのケースが他事業所からの紹介にて入居相談をされる。初期相談時に必要性がある場合には、担当するケアマネージャーに連絡する様努めている。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気などに徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	家族と相談しながら、本人の状態に基づき、その場に通って頂き徐々に馴染めるよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	入居者一人ひとりの経験や得意な事を見極め、その知識を教えて頂き嬉しい事・楽しい事・哀しい事を一緒に共有し支え合う関係作りに努めている。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	面会に来られた時等本人の生活状況を話す機会を設ける事で、家族も昔の事を思い出される中で、情報を聞くことができ一緒に本人を支えていく関係を築いている。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	個々の家族関係があり、より良い関係を築いていけるよう生活状況の報告、ホーム内でのイベントには声かけを行っている。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みのお店、理容院は同行介助し、美容院・お寺参り・お墓参り等は家族に協力頂き、外出出来る様支援している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入所者同士の関係は、共同生活する中でお互い不満はあり、その中で支え合えるような関係作りを見守り、時には仲介に入る。又孤独に感じないように、共に楽しめる時間作りに努めている。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	サービス利用終了しても、電話を頂いたりしている。懐かしい思い出を話され、入居当時と変わらない関係を続けている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の生活の変化や言動に沿い、把握し本人本位に検討する様努めている。		
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人や家族に詳細を聞き、一人ひとりの暮らしの把握に努めている。		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	夜間帯・朝の様子の引継ぎを受け、実際に顔を見て状態を把握し、一人ひとりに合った1日を過ごし方をして頂いている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	3か月に一度見直しをし、職員間での意見やアイデアを反映し、本人・家族と話し合い作成している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監視のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	3ヶ月に一度の介護計画の見直しを行っていて、本人の変化に準じ介護支援専門委員の適切な監視の元、話し合いを持ち新たな計画を実施している。		
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	介護計画を基に日々の支援を行い、個別のケース記録に記入し、気づきや工夫はその都度話し合い、共有し実施している。	○	職員一人ひとり気づきや工夫が思いついた時に、すぐメモ出来る様に、付箋等常備する事を考えている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	本人・家族の希望に応じ、通院介助や外出時の付き添い等柔軟な支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	クリスマス会では、個人ボランティアによる民謡・ハーモニカの生演奏をして頂いている。消防署は、火災訓練、救急救命訓練を職員・入居者全員で受けている。警察では、SOSネットワークの紹介があり協力を得ている。		
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	今現在サービス事業は活用していない。		
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要に応じて、連絡を取り合っている。		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	本人・家族の意思を尊重して、かかりつけ医へ同行受診し経過を説明し、適切な医療を受けられるように支援している。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	市立病院神経科に受診し、状態悪化した場合相談し、薬の調整をして頂き支援している。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護職員が常勤しており、日常の健康管理や受診等の相談をしている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時での必要事項(介護添書)書類を速やかに提出し、双方での情報交換を行っている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	事業所内での話し合いにて全員で方針を共有している。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	重度化や終末期に際しての家族と話し合う機会を設けている。事業所の基本的な「できること・できないこと」の対応可能な方針を共有している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>現状では該当する方は居ませんが、住み替え時には状況や習慣など暮らし方の情報提供に努めていく。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p> <p>職員は入居者一人ひとりの自尊心を傷つけないよう心がけ、日々のケアを行っている。個人の写真使用は本人や家族の了解が得られ、記録等も充分配慮している。</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p> <p>職員は入居者の言動やしぐさを見逃すことなく見守り、その人の力に合わせた支援を行っている。</p>	○	その人の力を大切に、ゆっくりとした時間をつくり思いを傾聴する事に努力する。
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p> <p>ホームとしての1日の基本的流れはあるものの、一人ひとりの希望(買物・散歩・理美容院等)に沿って支援している。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p> <p>身だしなみについては、本人の好みの物を職員と一緒に選びおしゃれが出来る様に支援している。本人行きつけの理美容院があり、同行支援している。</p>		
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p> <p>入居者の食べ物の好き嫌いの把握はしており、食事時間も個人差があり、ゆっくり摂って頂く事に心掛けている。又食器すすぎ・食器拭き・テーブル拭き等、その人の力に合わせて行って頂いている。</p>	○	時間の制限がある場合があるので、時間の余裕を持ち一緒に準備(下ごしらえ)を行っていききたい。
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p> <p>健康面への配慮をしつつ、本人の好み(飴・煙草)や意向を大切に支援している。</p>		おやつを食べ過ぎ・食べた事を忘れてしまう等、一人ひとりの摂取量を把握し買物時気をつけている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	オムツを使用しても、トイレでの排泄が出来る様に排泄パターンを把握し、個別でトイレ誘導をし状態に合わせた対応をしている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴日・時間は決まっていて、男女交替で入浴している。その人のタイミングに合わせて、後・先になる事もあり柔軟に対応している。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	1日の流れを通して、休息パターンを把握しゆっくりと休めるように環境づくりをしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	図書館・喫茶店への同行介助。又買物・アイスクリームを食べに行く等、楽しみごと・気晴らしの支援を行っている。役割として一人ひとりの力を活かし朝の掃除をして頂いている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	入居者の能力に応じ、おやつを買う程度のお金を持って頂き、買物の同行支援を行っている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	裏のベンチで日光浴をしたり、花や野菜の手入れ等自然に外出出来る様支援している。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	春には家族を誘い神社へ花見、夏祭りの出店・雪祭り等季節折々に外出の支援を行っている。	○	本人の希望があれば、元住まれていた所など外出の支援を試みたいと思っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>○電話や手紙の支援</p> <p>63 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人の希望で家族、友人に電話を取り次ぎ支援行っている。</p>		
<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>64 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>玄関を開放していて、自由に出入りが出来る様にしており、馴染みの人が訪問されても個人の居室でゆっくり過ごして頂いている。</p>		
(4)安心と安全を支える支援			
<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>65 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>全体会議で全員出席の上勉強会を開き、正しく理解され身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>		
<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>66 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>	<p>日中は全ての玄関に鍵を掛けていず、自由に外に出られるようになっている。出入り口にはセンサーがありインターホンが鳴るようになっていて、安全が徹底されている。</p>		
<p>○利用者の安全確認</p> <p>67 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>一人ひとりの能力に応じ、家族と相談しながら身近に置くなど検討している。</p>		
<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>68 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>一人ひとりの能力に応じ、家族と相談しながら身近に置くなど検討している。</p>		
<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>69 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>トイレやベット周りなど個々に合わせたセッティングをして転倒防止に努め、服薬に関してはダブルチェックで確認している。マニュアルや一人ひとりの写真などをセットして設置し、捜索訓練を行うなどの取り組みをしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	消防訓練時に応急手当、心肺蘇生法の訓練を定期的に講習して頂きマニュアルを用意している。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防署と設備会社の協力の元、年2回防火訓練を行いマニュアルを作成している。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	主に介護計画説明時に、時間をとり家族と話し合いを設けている。抑圧感のない暮らしに対して、ホーム側の体制についても報告をし理解して頂ける様努めている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日バイタルチェックを行い、その日の体調を日勤職員で把握し、異変が生じた場合常勤の看護師に速やかに報告し対応に結び付けている。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬については、服薬シート板に用量が明記されれている為、職員二人でWチェックを行い支援している。又症状の変化も見逃すことのない様努めている。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	便秘が起こり得る入居者を理解し、日常的に水分補給や運動・腹部マッサージを心がけて対応している。	○	水分補給が難しい入居者には、とろみをつけ飲用して頂くなど、対応していきたい。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	一人ひとりの能力に応じ声かけをいたり、職員が行ったりしている。就寝時に洗剤剤を入れ除菌の徹底に心掛け清潔強化に努めている。	○	起床時・就寝時の口腔ケアには強化しているが、昼食後については一部のみ(本人が習慣となっている。)だけなので、他の入居者に声かけを行いたいと思う。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一人ひとりの食事量・水分量をチェックし、記録されている。食材もバランスよくメニューに取り入れ、個々の嗜好品を把握し支援している。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	食事前の石鹸での手洗い・消毒・調理担当者のグローブ使用を徹底している。週の曜日を決めホーム内除菌掃除、食器・冷蔵庫の消毒を徹底している。		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	調理用具(まな板・包丁)布巾の毎日の除菌を行い、食材については、毎日配達してもらい新鮮なものを提供している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関前が広くスロープになっており、車も玄関前に停められるようになっている。又玄関前にも花を置き、明るい雰囲気になる様にしている。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ホーム内の廊下の2ヶ所に花を飾り季節感を取り入れ、リビングには入居者の好きな歌の歌詞を張ったり、季節ごとの歌詞も用意し唄って頂いたり、自由に過ごせる様支援している。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビング・食堂が共用空間になっているが、一人ひとりの場所が自然と決まり、気の合った入居者同士が隣り合わせになり過ごされている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている。	居室内は使い慣れたものを持ってこられたり、ご主人の写真を飾られたり、鉢植えを 置かれたりと居心地良く配慮し過ごされている。		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないように配慮し、利用者の状況に 応じてこまめに行っている。	入居者の状況に応じ空気の入替え、温度調整を行い又超音波噴霧器も利用し除 菌等に努めている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している。	各居室に流し台・トイレがあり、自ら洗面、排泄が行えるようになっており、歩行が不 安定な人などには、鈴を付けて見守りを行っている。廊下やトイレ等手すりも設置して いる。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や 失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫 している。	一人ひとりの出来る事、出来ない事を把握した上で、自信に繋げる様配慮し環境づく りをしている。		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている。	ホーム裏に芝生を植えてあり、パークゴルフが出来る様にしてある。プランターに花 や野菜を植え、水遣り、草取り、収穫などしてベンチを用意し休みながら楽しんで頂い ている。		



V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんど掴んでいない</li> </ul>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 毎日ある</li> <li>② 数日に1回程度ある</li> <li>③ たまにある</li> <li>④ ほとんどない</li> </ul>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての家族</li> <li>② 家族の2/3くらい</li> <li>③ 家族の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどできていない</li> </ul>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ毎日のように</li> <li>② 数日に1回程度</li> <li>③ たまに</li> <li>④ ほとんどない</li> </ul>

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

（日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載） \* 健康状態に留意し、日常の生活動作を維持出来る様に支援している。 \* その人の力を大切に・その人のペースに合わせ支援している。 \* 広い敷地内に建物が建っていて伸び々とした感じと、建物の横には芝を張りパークゴルフが出来るなど、自由にゆっくりと過ごす事が出来る。 \* 職員が明るくいつも笑い声であふれている。